

ぬくもり

2026年4月13日(月)

8年学年主任責任編集発行

はたら

働くとは

8年生が始まって、数日がたちました。みんなの相変わらずの素直さ、ぬくもりにホッとしています。その中で班長選出や委員・係決めが行われました。積極的な立候補が多数あり頼もしく感じる場所もあれば、なかなか役割が決まらず少し心配になる場面もありました。

前回の「ぬくもり」でもお伝えしたように、8年生ではさまざまな外部の人とかかわりを持つことが多くあります。その中の一つに「職場体験学習」があります。「働くとは?」ということを考えながら、実際に自身で働くことを体験してもらう機会になっています。少し先の取り組みにはなりますが、楽しみにしててください。その「働く」ということについて、昔放映されていたTBS系列「3年B組金八先生」というドラマで、3年B組の担任である坂本金八先生が次のように言っていましたので、少し紹介しておきます。

世の中には一見かっこ悪くて汚くてな誰もやりたがらない仕事があります

でも誰かがやってくれている

その誰かが私たちの社会を実は機能させ動かしているんじゃないかな

みんなに注目されるそして誰からも感謝されるたくさんの人から拍手してもらえる

そんな仕事がいいに決まっています

かっこよくて綺麗でね お金が儲かって そういう仕事がいいに決まっています

でもね 自分のために自分を表現して

自分だけ気持ちがいい人には誰も感謝しませんよ

誰からも拍手されない 誰からも感謝されない

それでもただ黙って誰かのためになると思って 一生懸命働く人

そういう人が本当に働く人なんじゃないかな

誰も引き受けない 誰もやりたがらない

でも誰かがやらなければ困る仕事

その仕事を黙ってやる人 その人たちこそがまさに個性に輝く人なんじゃないかな

【出典「3年B組金八先生」.TBS.(テレビ番組)】

8年生のみんなには個性に輝く人たちであってほしいと願っています。そして、先生自身も個性に輝く人でありたいと思います。



素直さ・縁(仲間)・考え続けること(思考)を大切にする ⇒ あったかい学年に!!